



関ロータリークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E.mail seki-rc@abelia.ocn.ne.jp
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 今峰 徹 ■副会長 大澤竜一 ■幹事 池村真一郎



2016~17 年度国際ロータリーテーマ
「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY
RI 会長 ジョンF・ジャーム
2016~17 年度 関ロータリークラブテーマ
「おもいやり」 第51 代会長 今峰徹

第 2455 号

平成 29 年 3 月 31 日 (金)

前例会の記録・第 2454 回 3 月 28 日(火)12:30

「会長エレクト研修セミナーの報告」
会長エレクト 後藤信介さん
「新会員スピーチ」 岩本雅文さん

- ◆開会点鐘
- ◆「四つのテスト」斉唱
- ◆ビジター紹介
岐阜南ロータリークラブ 会長 浅野良浩様
- ◆会長挨拶



皆さん今日は。
本日は関 RC の親クラブの
岐阜南 RC の浅野良浩様がお
越しになっております。
卓話は後藤信介さんに会長
エレクト研修セミナーについ
てお話しいたします。また
岩本雅文さんに新会員スピー
チをお願いします。

来月は地区情報委員長の丸尾健二さんに卓話をお願いいたしております。

今年定款の変更が行われました。本来は定款が変更されれば速やかにそれに併せて RC の定款を変更し、実情に合わないところは細則でもって実際の RC の実情に合わせるというのが本来の姿であるとのことを電話で懇切丁寧にお話しいたしました。この点が RI の求めている姿なのですが、実情に合わない定款をわざわざ変える必要がないという私の勝手な考えで、次期の会長後藤さん、その次の加藤さんに多大な迷惑をかけることになりそ

うなことをお詫びいたします。丸尾さんがこの定款と細則のあるべき姿についてお話しいただけることになりましたので、そのお話しをお伺いした上で、短い期間しかありませんが、定款変更、細則の作成をいたしたいと思っています。

ちなみに、この定款変更のおかげで丸尾さんはとても忙しい日々を送られているそうです。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 酒向徳享
会員 44 名中 出席 31 名 出席率 73.81%

◎ニコボックス委員会 委員 加藤浩二
会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は「会長エレクト研修セミナーの報告と「新会員スピーチ」です。後藤会長エレクトには、次年度に向けての思いの丈を存分に話していただき、岩本会員は自己アピールを存分にしていただければと思います。時間が足りないかもしれませんが、本日はよろしくお願い致します。

後藤信介さん・・・3月11日～12日、会長エレクト研修セミナーに行ってきました。今日は研修の成果を報告させていただきます。3月のゴルフ会5回目にして、優勝させていただきました。5回のうち3回が2位でした。2位男から脱却できました。

長尾、加藤(浩)、山谷、岩倉、土屋、古田、林(昇)の皆さん・・・後藤さん、会長エレクト研修セミナーご苦労様でした。本日のセミナー報告をもとに次年度に向けて全力で協力していきたいと思ひます。頑張ってください。

◆IGM の報告 報告者：酒向徳享

日時：3月20日（月）18：30 場所：だいえい
ホスト：西田泰幸 R情報：高井昭裕
リーダー：亀井高利 義務出席者：加藤照彦
特別出席者：酒向徳享

◆「会長エレクト研修セミナーの報告」

会長エレクト 後藤信介さん



3月11日（土）
～3月12日（日）
2日間三重県の
最も西に在る伊
賀市上野の上野
フレックスホテル
行って参りました。
国際ロータリー
第2630地区の会長
エレクト研修セ
ミナーが77クラブ
77名の参加で

開催され2日間研修して来ました。以前は1日で行われていたのが最近では2日かけて研修がされ、スケジュールの中に分科会の感想が4人発表となっていましたので、当たる可能性が在るので緊張感を持って研修を受けました。最初に釧田ガバナーより公式訪問、IM、地区大会のお礼を言われ残り地区協議会が有りますが宜しくお願ひしますとのことでした。規定審議会で採択された決議を守りクラブ定款・細則をすぐに改定する必要があるわけで、各クラブに自主性を持たせる為に改定されています内容を熟知してクラブに反映してくださいと話がありました。田山ガバナーエレクトからはロータリーは今、新しい時代に舵取りしようとしています。RI会長イアン、ライズリー氏は「ロータリー：変化もたらす」をテーマに掲げました。「IT IS THE TIME TO MAKE A DIFFERENCE」と2017年1月サンディエゴでの国際協議会でおっしゃったそうです。ロータリーの奉仕活動を通して「地域に変化をもたらす」「クラブに変化をもたらす」「人の人生に変化をもたらす」「自分の人生に変化をもたらす」というイメージです。世界から集まった500人以上のガバナーエレクトを拝見して国や民族によってそれぞれ事情はあるでしょうが、前に向かって進んで行こうという雰囲気を感じたそうです。（地域活動方針テーマ）「未来を創造しよう」・・・10年後のロータリーは・・・ロータリーは次の10年に向けて確実に動き出しました。奉仕の理念は何等変わることはありませんが10年後私たちのクラブはどのようなクラブになっているのでしょうか。青、壮、老の会員のバランスはどうでしょうか。

女性会員は増えているのでしょうか。ポリオを撲滅しグローバルな事業を通し奉仕団体として確固たる地位を世界に築いているのでしょうか。それとも変化についていけず魅力のないクラブが減少しロータリーの認知度が落ちているかも知れません。クラブは会員基盤を広げ多様な会員の取り込みを図り積極的に会員増強に努めることから始まります。10年後のあるべき姿を常に考え「未来を創造しよう」をスローガンにロータリー活動を展開していきましょう。クラブの自主性を高め地域の魅力あるクラブ作りが前進することを目標に1年間ガバナーとしての職務に精励したいとのことでした。RI会長エレクト、「変化もたらす」、ガバナーエレクト「未来を創造しよう」10年後のロータリーは、というテーマで進められるそうですが、私も会長ノミネーに選ばれた時には「温故<50>知新」ふるきを温め新しきを知り次の60周年に向けてのスタートの年と考えて、偶然と思いますが、今ロータリーは大きく変化をする時代だなどと思いました。初日の偉いさんの話がおわり、二日目は1分科会40分を3分科会に分かれて研修が行われました。最初にロータリー財団部門分科会に行きました。2016会計年度 寄付金総額約292億円で一番多く寄付されたのがビルゲイツ氏の77億だそうです、資金は3年周期で投資運用され、その後50%は国際財団活動資金としてロータリー財団へ、50%は地区財団活動資金として分配されるそうです。以前分配の話は聞きましたが、投資運用については、あまりよく知りません。ロータリー財団への、クラブ参加資格認定覚書(MOU)は、事業はしなくても(MOU)は出して下さいとのことでした。地区補助金申請は、2016-17年度は26件の申請がされているそうです。その査定を堀部さんがやられている委員会です。グローバル補助金の説明が有りRI会長賞へ挑戦しようと話がありました。次の分科会は奉仕プロジェクト部門で社会奉仕、国際奉仕の説明をされ、青少年奉仕部門ではロータアクト、青少年育成、インターアクト部門、米山記念奨学金部門、青少年交換部門では特に人選をしっかりと行ってほしい、留学先で大変なトラブルが起こる場合がありますとのことでした。次の分科会では情報部門、職業奉仕部門、会員増強部門の説明が有り、中でも会員増強は、RI理事会、地区リーダー、各クラブにいたるまで、ロータリー全体の最重要課題ですが、中でも重要な役割を果たすのがクラブです。クラブが会員増強に真剣に取り組めば、目に見える成果が得られるでしょう。新会員を増やし、現会員による積極的な参加を促すには、魅力的で楽しいクラブ作りが必要で

す。まずはクラブを客観的に見つめ、強みと改善点は何かを考えてみましょう。まずは、様々な人からの意見や提案を集めることから始めましょう。ということで意見を集める方法としては、直接訪ねる、アンケート調査、ディスカッションなどで得た現状評価は、形式的なものに留めるべきではなく、集めた意見を基に、実際にクラブに変化を取り入れることが大切で、それが生かさなければ、クラブをより良くしようという意欲が薄れてしまうとのことです。会員の多様性については、クラブの現在の会員構成に目を向けて、職業、年齢層、性別に偏りが無いのか、地元地域の人口を適切に反映しているか、女性会員や若年会員を含め、多様な会員基盤を持つことには、様々なメリットがあると説明が有りました。三つの分科会も終わりました分科会の感想発表に入り代表4人が発表されました。

3月18日には東海北陸道グループ会員増強セミナーが各務原市総合福祉会館にて開催され関ロータリーからは池村幹事、木村現増強委員長、次期会長後藤、岩倉次期幹事、三輪次期増強委員長と5人でセミナーに参加させて頂きました。まず釧田ガバナーからは会員の背中を見せ入会してもらえよう活動をしてほしい、そして、ロータリーは大きく変わろうとしている、その例として

2015年6月30日付 加茂東RC 脱会
2015年7月1日付 土岐中央RCと土岐RC
が合併し土岐RCに。2015年7月1日付不破の関RCと不破RCが合併し不破RCに。1クラブが脱会し4クラブが2クラブになり、現在国際ロータリー第2630地区では80クラブから77クラブに減少したそうです。今後も本年度末には岐阜加納RCと岐阜中山道RCが合併する方向で進んでいるそうです。また噂では大きなクラブの合併もあるようです。会員数の少ないクラブが合併するのは解りますが、大きなクラブの合併については関心が必要と思います。今後の60周年に向けて関RCの選択の中に考えていく必要があるかもしれないとおもいました。

村橋パストガバナーの基調講演では、クラブ死重奏について講演が有りました。会員数がピーク時の50%以下、平均出席率が80%以下、平均年齢が70歳以上、地域の社会環境的課題クラブが効率的なクラブになっているかの判断基準であり、RCを脱会するかどうかの判断基準だそうです。村橋パストガバナーのクラブでは集団でクラブを辞めた人達がいて「皆で辞めれば怖くない」という感覚で辞められたそうです。そこでリーダー的な人と話をされ、リーダーの方には辞めてもらい他の方には残ってもらったそうです。

今後このようなケースは発生するかもしれないので注意をしてくださいと話がありました。

◆「新会員スピーチ」 岩本雅文さん



本年1月より、新会員として「関ロータリークラブ」に加入させて頂きました、岩本です。関市在住です。昭和36年愛媛県で生まれました。祖父母、父母共に学校の先生という環境に生まれ、育った割には、順風とは言えない今日

この頃ですが……。中学校はお受験をいたしまして、田舎の小僧が間違っ合格してしまい、私立の学校に行ってしまいました。ついて行けず、高校は県立の宇和島東高校に入学いたしました。どちらかというスポーツやその他の活動にはまってしまい、生徒会活動や、いろんなスポーツに夢中になる高校生活だった様に思います。大学は門をたたくも開けてもらえず、浪人後、風早汽船株式会社という所に入社致しました。汽船会社ですが、スポーツクラブの運営をやっておりまして、アルバイトの延長戦で入社をいたしました。中では、選手育成や、障害者のリハビリ、そのころの成人病の運動療法指導、運営開発等を手がけておりましたが、上司と折りが会わず、平成7年に13年勤めて退社致しました。同時に遊技場を手がける会社がスポーツ事業に参入したいのでと言うことで、マーケットリサーチから入り平成8年8月に1つスポーツクラブを手がけました。運営が始まりましたが、ちょうどその頃、よく勉強にこらせて頂いていた岐阜のスポーツクラブのチェーンをやっている所から誘われまして、平成8年8月末に初めて岐阜にやって参りました。以後、ずっと岐阜ですので足かけ21年ほどお世話になっていることとなります。岐阜にきてからは、スポーツクラブ、フィットネスクラブの運営や、温浴施設の企画のお手伝いなどをして約5年程が過ぎたように思います。現在、私は「株式会社大亜」の社長をやらせて頂いています。運送、内装仕上げ工事を主に行っています。全くそういう経験はなかったのですが、スポーツ事業を手伝っているときに、あるオーナーさんから「自分の財産でスポーツクラブがあるんだが、運営をやってみるか

ね？」という問いかけがあり、喜んでお返ししたのですが、そのときの店子さんと裁判になり5～6年はかかると言うことで、その方の本業である運送業にご厄介になることになりました。全くの初体験ですので、リフトはなんぞや、トラックとはどんな物か、どう扱うのか、仕事の内容など判らず、教えてもらうことばかりでした。たまたま、配属されたのが倉庫で、車の部品を扱うサプライヤーの物流を行っている部署でした。メーカーからの縛りが大きく、また品質も一定しないため、無駄の大きいやり方のように感じ、そのときに「提案してもいいか？」と尋ねると「みんな判らんから自由にやってみろ」と言われました。先方と話をしていく中で何かを作っていくということは、何を手がけても一緒かなと言うことに気づき、ひよっとすると、この仕事もやれるんじゃないかな～。と思うようになりました。何となく進めているうちにサプライヤーやメーカーの担当者とも協力し合えるようになり、「一度、大きく物流を変えてみようか」という段階まで話が進み、そのときの仲間（従業員）も一緒に工場を2つ合理化して1拠点に集約し、合理化と高効率化を図るということにチャレンジさせて頂きました。このあたりが、現在の今の自分に繋がっているように感じています。ある時、全く違う会社の部長さんから食事に誘われ、名古屋で食事をいたしました。その時に「連れも一緒なので・・・」と言われて3人で食事をしたのですが、1週間ほどして、その部長が「実は、あれはお見合いで、先方が、運送屋っぽくない人を紹介してくれ、今まで運送関係の紹介者を持って行くんだけど、ことごとく立て直しに失敗する」「ちょっと変わったやつの方がいいのかもしれない」という事だったようです。しばらくして「うちにこい」と言うことで興味半分行ってみました。行ってみると10,000坪ほどの大きな倉庫に電線ハーネスだらけの、大きな物流センターで、とにかく、日本人の少ない所でした。事故や間違いが多く、防止策の1手が打てないのが現状のようでした。入社ほやほやの人間が、何を言っても聞く耳を持たないだろうと言うことで、1ヶ月ほどは作業員に混じって作業の毎日です。ですが、外人でも日本人でもやることは一緒だし、確認の方法も一緒、ルールも一緒ですから何かのきっかけで変わるんじゃないかなと思ひ、挨拶や言葉に出すことを提案しました。(幼稚園の目標と一緒に、ゴミを拾いましょう 大きな声で挨拶しましょう) ですが、なかなかそれすらできないのが現状です。リフトの転倒事故は毎日、品違ひも毎日、うんざりして、ある時、朝礼でリフトマンに、パレットの上に乗っている自分を、30

センチ角の箱を4段積んだだけの品物の上に、転倒させることなく置くようにデモンストレーションをやるよう指示を出しました。朝礼には200人ほどが毎日出席しラジオ体操をして所長から注意事項を受け、解散と言うものです。リフトマンは危ないと言いましたが、「危ないことが判っていても漫然と仕事をやって転倒事故が起きているんじゃないの」と言うことで当然転倒することを前提にやって頂きました。これが人だから注意する、物だから気にしない。では、挨拶をしようも書いてあるだけ、ゴミ拾いも書いてあるだけ・・・になっているのと、全く同じ事。今日はとにかく私が納得する挨拶ができるまで、何回でもやる。と10回ほど繰り返し、周りから何が起こっているの？と見物にきました。その時の物流センターの社長さんが、「また・・・さん変わったの連れてきたな～」と思ったそうです。しかし、それを境に転倒や間違いは減り3ヶ月でみんながある程度真剣に向き合ってくれるようになったと感じました。とにかくいろんな勉強をさせて頂いたと感じます。

独立のきっかけは、障害児を抱えていまして、「定年したらどうやって育てよう。10年体が動くうちに死ぬほど働けば何とかかならんかな」と思い46の時に独立してみました。はじめは1人でしたが妻が助けてくれ、少しずつ人も増え、車も増え何とか細々やって行けています。今後とも、ご指導をお願い致します。

◆幹事報告

◎例会終了後、臨時「理事、役員会」開催

◎4月のロータリーレート 1ドル:116円

次例会のご案内 4月11日(火) 12:30
「クラブ運営に大幅な柔軟性のある定款・細則変更の解釈」「CLPによるクラブの活性化の仕方」
国際ロータリー第2630地区 情報部門
委員長 丸尾謙二様
担当:ロータリー情報委員会

例会:毎週火曜日 12:30

例会場:岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F

事務局:岐阜県関市平和通7-10-25 アメリア2F